

# まちづくり通信No.78

# 市民ネットワーク

発行 市民ネットワーク/編集 市民ネットワークみはま  
 千葉県美浜区高洲1-24-2 千葉県不動産会館ビル3F  
 〒261-0004 Tel・Fax 278-5005  
 メールアドレス・mihama@chibanet.jp  
<http://www.chibanet.jp/mihama/index.html>  
 配布地域 美浜区 配布部数:45,000部



## 一般質問から

### 自転車を取りこなす街へ ～幕張新都心でコミュニティサイクル社会実験～

今期市長マニフェストは「自転車の街・千葉市の確立」を掲げ、その中で「幕張新都心でのコミュニティサイクル社会実験」が予定されています。以前市民ネットワークでは、自転車の安全な利用の促進を願い、条例提案しており、期待するところです。

コミュニティサイクルは、レンタサイクルと違い、街中に複数のサイクルポート（貸出・返却拠点）を置き、どのポートでも自転車の貸し出しや返却が自由に行えるシステムです。新たな交通手段として回遊性向上や環境面での効果が期待され、すでに横浜、岡山等全国40以上の都市で導入されています。

幕張新都心で実験を行う理由は「来街者が多い、埋め立てによる平坦な地形、自然豊かな海辺や幕張メッセ、QVCマリンフィールド、更には、12月オープンイオンモール幕張新都心などの観光集客施設が点在し、新都心の回遊性の向上を図り、有効性を検証する適地」とのことです。

どちらかと言うと、観光での活用が想定されているようですが、自転車はやはり日常生活での利用こそを支えてほしいものです。また、走行環境整備や駐輪対策、マナーアップなど、所管が異なっていますが、「自転車の街」を確立するならば、全体を取り仕切る部署も必要です。

### 残念！議会への上程ならず ～「原発事故子ども・被災者支援法」に基づく 具体策の早期実現を求める意見書～

昨年6月、国会で全会一致で採択された法の具体化を求めるものなのに、千葉県議会では自民、公明、未来創造が議会運営委員会で反対。他の多くの地方議会では採択が進んでいる。原発事故の被災者のおかれた立場を思い、速やかな実現を求めたい。

意見書提出には議会の12分の1（5人）が必要でネット独自ではできない。他の会派が提案してくれればいいのだが、そういう動きはなく、今回はみんなの党・無所属議員と共同での提出となった。意見書の共同提出は千葉県では初めてのこと。

（意見書案全文は、市民ネットワークのHPをご覧ください）



## 湯浅美和子の議会報告

2013年第3回定例会  
9月6日～10月3日

### 2012年度決算を認定

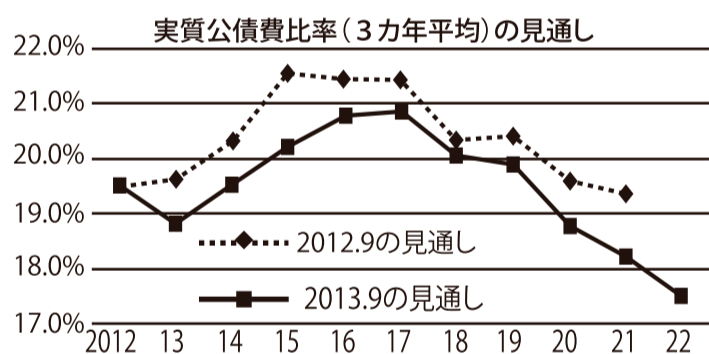
市長は就任以来4年間、ひたすら財政再建に努め、ムダのカットにまい進してきた感がありますが、2012年度の予算案は、3月11日に起きた大震災の影響を色濃く反映して防災や減災を意識し、また真に必要な分野について特別枠を設け重点配分し、さらに市債管理基金へ20億円の返済を計画していることを評価し、賛成しました。

決算では、確保健全化判断比率はわずかに改善したものの、依然政令市ワースト「①実質公債費負担比率19.5%（政令市平均11%）②将来負担比率261.1%（同126%）」。市債管理基金への償還は5億円にとどまり、退職手当債30億円を発行して、かろうじて一般会計12億円の黒字を確保しました。

ただし、財政再建の柱の一つである借金残高の推移を見ると、全会計の市債・債務負担行為の年度末残高は、前年比196億8600万円減の1兆970億円。100億円規模での減少が続く、人口一人当たりで換算すると利子含めて128万円の借金を背負っていることになり、5年前は144万円だったことを考えると、堅実な減少傾向と言え、好転の兆しはあると判断し、決算に賛成しました。

今後、市長マニフェストにある「行政コストの可視化」が進むと、保育所や家庭ごみ収集などで、自分が負担する公共料金に対してどのくらいの行政コストがかかっているか分かるようになります。市民も、得た情報を当事者の一員として評価することも大切で、

専門家も交え説明を受ける中で、市民が議論出来る、そんな仕組みも欲しいものです。



### 『予算要望書』今年も提出

10月15日に千葉市の来年度予算に関する要望書を提出しました。毎年、前年の要望がどの程度実現したかを検証し、また、新たな地域の課題が出てきたら、検討して書き加えます。この一連の作業を毎年8月くらいから始め、この時期に提出してきました。実現したのも、なかなか実現しないものもありますが、市民ネットの基本的な政策を見るには予算要望書を見るのが1番かもしれません。選挙の政策よりはずっと具体的なものです。どなたにもお届けしますのでみはま事務所までお申し出ください。こんな要望も入れてほしいという声もお寄せください。

（磯辺 岩橋）



### 決算特別委員会傍聴の報告

#### 保健消防委員会

決算審査については、2011年6月から2年間の「議会のあり方」検討協議会の結果、専門的な審査を目的に、これまでの2分科会から5分科会での審査になり、また、今までの一括質問一括答弁に加え、傍聴者にもわかりやすい一問一答方式が、本会議に続いて可能になりました。

保健消防所属の議員11人、対面する保健福祉局の職員30人ほど、傍聴席は6人分、傍聴は1人でした。決算資料による職員からのあらましの説明のあと、議員7人が質疑。うち4人が一問一答方式でした。市民生活に直接かわる分野で質疑は多岐にわたり、介護保険、HIV、子宮頸がんワクチン、認知症、虐待、自殺対策、霊園、食品の放射能検査、地域ネコ、老人クラブ、生活保護等々。

保健消防の常任委員会でもほぼ同様でしたが、議員に市の職員が答え、議員同士の討議はありません。議員が、その能力を互いに持ち寄って市政に反映できる討議の場があればと感じました。

（政策室 坪井）

## 政治カフェ の報告

### こどもがガンになるということ ～9月21日(土)～

みはまネットの政治カフェで、「こどもがガンになるということ」という衝撃的なタイトルで「NPO法人ミルフィーユ」の代表・井上富美子さんの話を聞きました。ミルフィーユは小児がんにかかったお子さんとその家族を支援する団体。井上さんの息子さんが30数年前、小児がんにかかって苦労なされた経験から彼女は現在、千葉県立子ども病院内で小児がん専門医師、看護師の協力を得て、入院中の幼児から高校生くらいまでの小児がんの子どもたちに、ほぼ週1回、ケーキ作り、お誕生会やクリスマス会、家族で釣り体験、お父さんの参加するそば作りなどのイベントを組み、がんという重荷を背負ったお子さんとその家族に沿いながら明るい気持ちになってもらい、将来への不安を軽くしてもらおうと、力強く取り組んでいらっ



います。子ども病院以外ではこのような活動はなかなか受け入れられないのが現実。井上さんの活動は一般の人にはほとんど知られていません。がんを患った子どもたちの心を開き、生き抜いていく力になっているミルフィーユのお話を聞き、この活動を多くの人に知ってもらいたいと強く感じました。

(幸町 大西)

### 民主党・小西洋之さんに聞く ～9月4日(水)～

2010年夏の参院選で小西さんを推薦しました。あれから3年が経ち、国会でどのような活動をされていたのかを聞きました。現在は、「いじめ法案」に取り組んでいますが、医療・福祉に関することでは、多くの法案に関わって積極的な活動をされていました。元官僚のため、ご自身が官僚時代に関わっていた法案に、今度は国会議員として関わっていて、どんなアプローチをしたら、より良い提案できるのかがわかっている強みを感じました。40分ノンストップ超早口というあっという間の時間でしたが、誠実な思いと行動力が伝わりました。(幸町 関根)



### 「ぼれぼれ」の報告 ～10月18日(金)～

「ぼれぼれ」は、産後ママのための誕生学とベビーマッサージでした。

- お母さんのおなかの中での赤ちゃんのスタートは針の先ほどの大きさ
- 赤ちゃんは、おなかの中で指しゃぶりをし、おっぱいを飲む練習をしている。
- 陣痛は、肺機能の準備が整うと産まれていいよという赤ちゃんからの合図。
- へその緒の長さは、産まれてすぐ赤ちゃんを抱っこできる長さ。

など、誕生学アドバイザーの渡辺さんのお話は、赤ちゃんが愛おしくなり、これからの子育てが楽しくなるものでした。



ベビーマッサージは、親子がリラックスできる時間帯に1日10～15分位行なうのが良いそうです。赤ちゃんとお肌と肌をふれあう時間をお父さんにも味わわせてあげてとのお話もありました。

(稲毛海岸 田中)

### ネットふれあい市

11月23日で最終回になります。

2007年5月から6年半、毎月第4土曜日、真砂中央ショッピングセンターで雨にも台風にも負けず開いてきました。本、食器、服などのフリーマーケット、手づくり小物、アジアの雑貨などが並ぶ中で、何といても人気は取れたて有機野菜でした。

マンション建設計画のため、残念ですが11月23日で最終回になります。これまで、買い物に来て下さった方、フリマのお店をだして下さった方、大勢の方々の協力を頂きました。本当にありがとうございました。今後も場所をかえて続けることを模索中です。

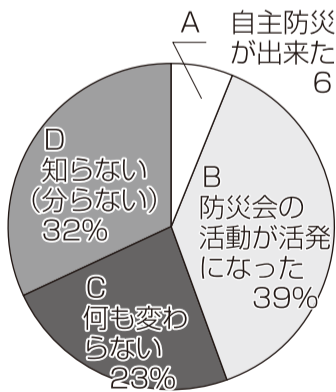
(真砂 田平)



## 防災アンケート

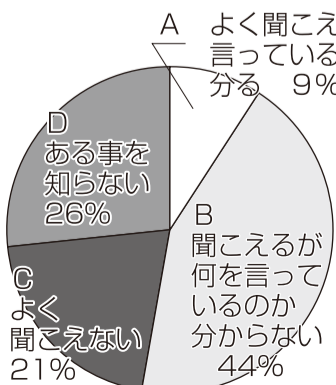
みはまネットでは今年度の活動に防災をテーマにしてみました。街づくり通信77号で防災についてのアンケートを実施し、51通の回答がありました。協力していただきありがとうございました。

### 1 震災後、あなたのお住まいの地域や自治会などで防災に対して変わったことはありましたか。



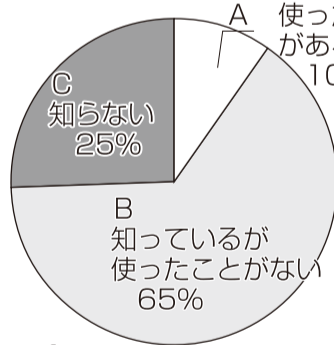
自主防災会が出来た、活動が活発になったところ、何も変わらない・知らないが、半々になっていて、自治会ごとにと取組みに差ができています。

### 2 防災行政無線について伺います



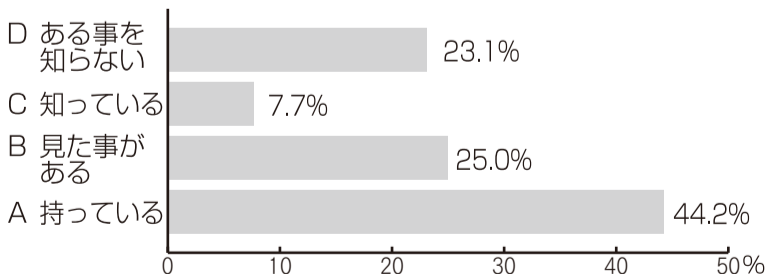
防災行政無線はよく聞こえる人は1割程度で、ほとんどの人はよく聞こえない状況のようです。今後は別の方法で伝えていくのか、今の方法で聞こえる様にするのが検討課題です。

### 3 伝言ダイヤル(171)をご存知ですか



伝言ダイヤルは9割の人が使ったことがないようです。日頃の訓練の一つに取り上げるのはどうでしょうか。

### 4 津波ハザードマップを市で作成配布しましたが



#### <出された意見>

- ・近くの公園が安全かと思ったがそうではないと思った。
- ・小学校が避難場所になっているが、そこが本当に安全なのか不安(津波に対して)
- ・現在の住まいは、管理組合や自治会がないのでコミュニティを大事にする機会をもらいたい。
- ・防災訓練の時、災害弱者のお年寄りや障がい者はほとんど出てこない。具体的な避難の仕方を自治会全体で考えていく必要があると思う。
- ・家庭で出来ることとして、月に1度防災の日を設定して、電気・ガス・水道を使わないでみようと思います。

インフォ  
メーション

総  
会

市民ネットワーク  
千葉県  
2月2日(日)午後  
ホテルグリーンタワー幕張

市民ネットワーク  
ちば  
2月15日(土)午後  
文化センターセミナー室